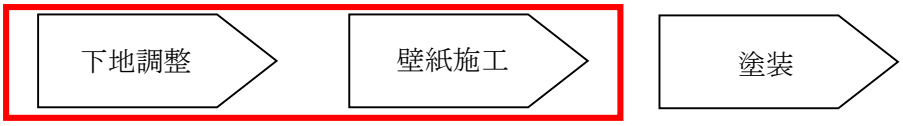
コーティンウォール（ペンキ下地クロス）施工要領書
下地調整・壁紙施工

株式会社川島織物セルコン

本要領書の位置づけ

コーティンウォール「下地調整」・「壁紙施工」・「塗装」の工程からなり、この要領書は「下地調整」と「壁紙施工」の工程の要領書です。



1．専用ガラス繊維織物（グラスロン）構成

① 基布　　：ガラス繊維織物
② 裏打接着剤　：EVA 樹脂
③ 裏打紙　　：水酸化アルミニウム紙
④ ガラス繊維織物規格

銘柄	品番	リピート（cm）		有効幅（cm）
		タテ	ヨコ	
ストライプⅠ	AJQA813	–	0.7	93
ストライプⅡ	AJQA814	–	1.7	93
無地	AJQA815	–	–	93

2．施工上の注意

（１）　下地の調整

・下地面に古い裏打紙が残っている場合は必ず除去してください。
・下地表面の異物を取り除き、パテを使って凹凸の無い平面に仕上げてください。
・パテは下地と同じ色のものを使用してください。
・下地面の汚れや、チョーク・鉛筆等による文字などは落としてください。
・必ず下地に合ったシーラー処理を全面に行ってください。接着不良等による浮きの原因となります。

（２）壁紙施工

①糊付け・養生

・施工糊はボンド入りのもので F☆☆☆☆商品をお使いください。
・糊付け機上で壁紙をカットする場合に、ガラス繊維をうまくカットができない場合は刃の位置を調整ください。
・糊付け後は折り曲がらないように大きくたたみ、上積みはさけてください。塗料を塗った後でも、折れシワとなって跡が残ることがあります。
・オープンタイムは１０分～１５分が目安です。オープンタイムが長すぎると相剥ぎの原因となります。

②貼り付け

・裏打紙に水酸化アルミニウム紙を使用しているため、空気が逃げ難くなっています。塗装後に膨れが生じることがありますので、刷毛で空気を逃がしてください。
・ジョイント部分のローラー掛けは樹脂製の柔らかい素材のものを使用してください。
・ガラス繊維の毛羽立ちや潰れ防止のために、ローラーで強く押さえたり、刷毛で強く擦らないでください。
・ガラス繊維を使用しているため、カット時にほつれやすいのでご注意ください。カッターなどでカットする際はこまめに刃を替えてください。
・壁紙表面に施工糊が付着した場合は、水で濡らして硬く絞った布で拭き取ってください。糊が残っていると、塗装後にムラの原因となります。

③養生

・施工後の養生は使用環境により異なりますが、ジョイントの目開きや膨れを発生させないために、直射日光や外気や空調などによる急激な温度変化を避けて４日以上を目安に養生してください。
・気温が５℃以下や湿度が８５％ＲＨ以上になるような室内環境や、換気が不十分で結露が考えられる場合は塗装を避けてください。